



2012年12月7日

(株)ノバレーゼ(東証一部)

報道資料

**産経新聞、関西テレビ提唱“みどり基金”の助成を受け
国の重要文化財の「泉布観」と「旧桜宮公会堂」が残る敷地内に
13本の桜を植樹、造幣局の桜の通り抜けと並び春の観光名所に**

ウェディングプロデュース・レストラン運営の(株)ノバレーゼ(本社:東京都中央区、浅田剛治社長、東証一部、資本金:6億円)は、大阪市から借り受け2013年4月に開業する、婚礼施設兼カフェ・レストラン「旧桜宮公会堂」の敷地内に、桜の木13本を植樹します。

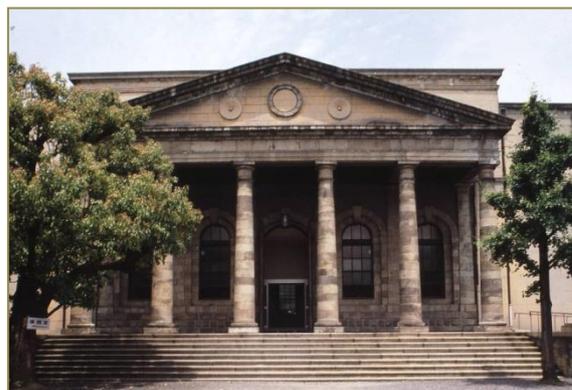
この度、大阪府の緑化活動を支援する「公益信託グリーンプログラム21(みどり基金)」(産経新聞社、関西テレビ放送提唱)から250万円の助成を受け、ソメイヨシノ10本とオオシマザクラ3本を、2013年4月に植樹します。

敷地の南側(京阪国道沿い)に9本のソメイヨシノを植え、残りを国の重要文化財である泉布観の北側に植樹します。

「旧桜宮公会堂」は「桜の通り抜け」で有名な大川沿いに位置しています。当社は関西でも屈指の「桜の名所」と景観を一体化させるため、今回の植樹を桜に選定しました。敷地は一般開放するため、多くの方に造幣局と合わせてご覧いただけ、地域活性化にもつながると考えています。

今回の植樹は、長らく閉鎖されていた「旧桜宮公会堂」の活用方法が婚礼施設兼カフェ・レストランと広く一般開放することが、公共性の高い施設との評価を受け、助成に至りました。

当社は敷地内の施設と同じく植樹した桜の保存維持に努め、大阪府の皆様にも長く愛される施設として運営していく所存です。



旧桜宮公会堂の正面玄関



泉布観もある6千㎡の敷地を一般開放

■ 婚礼施設に再生することで歴史的建築物を活用

当社は大阪市が所有する北区の旧桜宮公会堂を借り受け、婚礼施設兼カフェ・レストランとして再生、2013年4月に「旧桜宮公会堂」として開業します。

旧桜宮公会堂は1935年に明治天皇記念館として建設され、現在は閉鎖中の、大阪を代表する洋風建築です。日本の昭和初期の貴重な洋館の一つでもあり、建造物として重要な位置づけを担っています。



国の重要文化財で、大阪府最古の洋風の正面玄関は、1870年に建設された造幣寮(現造幣局)のものを移築しており、ローマ神殿風の重厚な石造りが特徴です。

当社は、こうした歴史的建築物の構造全体を残し、建物内を当時の様式美を活かしながらリノベーション(改装)します。

一階に着席で120人を収容する披露宴会場(217㎡)を設け、二階に着席80人のチャペル様式の挙式スペース(97㎡)と列席者の待合室(134㎡)、新郎新婦の控え室(49㎡)をつくります。

土日祝日を昼夜各1組限定の婚礼施設として、平日は披露宴会場をカフェ・レストランとして運営します。料理は大阪野菜など地場食材を使用したフランス料理を提供します。

建物の改装と周辺の整備に約4億円を投じ、2012年10月から工事を開始しています。施設の設計および施工は榊竹中工務店です。当社はこの桜宮公会堂の運営で、年間160組の披露宴を手掛け売上高約6億円を目指します。組単価は300万~350万円を想定しています。

また2012年9月には、披露宴の予約受付を行う開業準備室を、大阪市北区の当社ウェディングドレスショップ「ノバレーゼ大阪」内に設けており、多くのお客様から好評を得ています。

■ 敷地内にある重要文化財「泉布観」や日本庭園も一般公開

旧桜宮公会堂が建つ約6000平米の広大な敷地内には、国の重要文化財で大阪最古の洋風建築の一つである旧大阪造幣寮「泉布観」[※]も現存します。かつ、日本庭園や敷地の東側には、桜など約400本(約120品種)の樹木が残り、緑に囲まれた空間です。当社はこうした建物周辺の歴史的資産も活用し、記念撮影やフラワーシャワーなどの婚礼演出を行います。

また、日中は敷地全体を一般開放し、散策などをお楽しみいただけるようにします。

※泉布観は大阪造幣寮(現在の大蔵省造幣局)の応接所として1870年に完成。泉布は貨幣、観は館を意味し、明治天皇が命名。旧桜宮公会堂の一般開放後は、この泉布観の外観もご覧いただけます

■ 挙式スペースは自然光が煌めく幻想的な空間

2階に設けるチャペル様式の挙式スペースは、天窗やバルコニーから太陽光の注ぐ、元々の設計を活かした、採光性の高い空間です。内装材にガラスブロックを使用し、自然光とガラスブロックの反射光が重なり、チャペル内はキラキラと幻想的に輝きます。

また祭壇は自然光の入るバルコニー側に設置し、新郎新婦の背後に柔らかい光がゆらぐとともに、祭壇越しには桜並木が広がり、自然の中で挙式しているかのような雰囲気を演出します。

■ 披露宴会場兼レストランスペースは“モダン・クラシック”

披露宴会場は、過去の改修工事で現在は覆い隠されたままになっている、美しい古典様式の装飾天井を復活させ、建築当時の荘厳な空間を取り戻します。格調高い設えなど当初の建築ディティールを活かしながら、現代のデザイン感覚を取り入れ、新旧が融合したクラシカルで華やかな雰囲気をつくります。“ラグジュアリー・クラシック”な空間で、施設コンセプトである「歴史ロマン香る大人のウェディング」を具現化します。

また、企業や町内会、各種団体がイベントやギャラリーなど幅広い用途で披露宴会場をご利用いただけるよう、スペースを広く確保し、かつ柱等を排した整形の使い勝手のよい空間にしています。

**■ 施設概要**

| | |
|---------|--|
| 施設名 | 旧桜宮公会堂 |
| 開業日 | 2013年4月 |
| 住所 | 〒530-0043 大阪府大阪市北区天満 1-1-1 |
| 交通 | JR東西線 大阪天満宮駅1番出口 徒歩9分、JR大阪環状線 桜ノ宮駅西口 徒歩9分 地下鉄堺筋線・谷町線 南森町駅3番出口 徒歩10分 |
| 電話番号 | 06-4795-7272 (オープン準備室(NOVARESE 大阪内)) |
| 営業時間 | 婚礼／平日 12:00～20:00、土日祝日 10:00～20:00、水曜日定休 レストラン／平日 11:30～21:00、第二水曜日定休(婚礼のある土日祝日は休み) |
| 収容人数 | 披露宴会場(レストラン)／着席120人、挙式スペース／着席80人(100人収容) |
| 駐車場 | なし(周辺駐車場を利用) |
| 投資額 | 約4億円 |
| 年間売上目標 | 約6億円 |
| 婚礼見込み数 | 年間約160組 |
| 披露宴平均人数 | 約70人 |
| 組単価想定平均 | 300万～350万円 |
| 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建て |
| 面積 | 敷地／6215㎡、既存建物延床／927㎡ |
| 設計・施工 | (株)竹中工務店 |
| ホームページ | http://www.novarese.co.jp/smk |

旧桜宮公会堂の歴史とデザインの特徴**— 歴史 —**

旧桜宮公会堂は1935年に明治天皇記念館として建設された、鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建て、延べ床面積約1000㎡の建築物です。造幣局の北側、桜之宮公園の泉布観地区にあり、正面玄関部分は泉布観と並ぶ大阪府最古の洋風建築です。

国の重要文化財(1956年指定)である正面玄関は、1870年に建設された造幣寮(現造幣局)の金銀貨幣製造所のもを移築しており、建物全体は同製造所の当時の様子に復元されました。

造幣局の工場建築で最も美しいと評されたこの正面玄関は、老朽化による昭和初期の製造所の取り壊しの際に保存され、明治天皇記念館の建設時に正面玄関に取り付けられました。

以降、明治天皇記念館から聖徳館に改称し、戦後1948年に桜宮公会堂となりました。

1950年には2階部分に大阪市立図書館(桜宮図書館)が移転しましたが、1980年には図書館はなくなり、かわりに1985年から学校教育の振興施設ユースアートギャラリーとして主に児童・生徒の絵画展が行われていました。

大阪市民に広く愛されてきましたが2007年3月に閉鎖、現在は利用されていません。

— デザインの特徴 —

正面玄関部分の設計は明治政府初期の外国人技師、トーマス・ウォートルスです。

青竜山石を使った玄関ポーチの6本の列柱(桁行約2.85m、梁間約15m)が美しく、その建築様式はローマ時代のトスカナ式です。屋根は銅板で葺いた三角形の切妻造(きりづまづくり)で、屋根と柱を支える軒蛇腹(のきじゃばら)も特徴的です。玄関戸の両脇には、円形状(アーチ型)の窓が配されており、石造りの柱とともに、優美で力強い建築美をつくりあげています。



ノバレーゼの歴史的建築物の婚礼施設再生事例について

ノバレーゼは、既存建物のリノベーションを 7 件手掛けており、中でも歴史的建築物を婚礼施設へ再生する案件が 6 件(今後の開業案件含む)と多く、婚礼再生のリーディングカンパニーです。

[1] ザ ロイヤル ダイナスティ(埼玉県/2004 年)

創業 38 年の老舗式場「出雲会館」を、神殿や風格のある建築を残しゲストハウスにリノベーション。

[2] 芦屋モノリス(兵庫県/2005 年)

1929 年に電報電話局として建築された洋館「旧通信省芦屋別館」を再生。当時の趣ある外観をそのまま残し、設備を一新。新たに水に浮かぶように造られたチャペルを新設。

[3] 三瀧荘(広島県/2009 年)

各国要人の宿泊先としてや、将棋の棋王戦や囲碁の碁聖戦の舞台として、国内外の方々に愛された木造建築である、1946 年開業の料亭旅館「三瀧荘」を再生。現存する建物や庭を活かしながら宴会座敷をチャペルにするなど“ジャパニーズ・モダン”をテーマに改装。

[4] 姫路モノリス(兵庫県/2009 年)

1930 年に建設の昭和初期の歴史的建造物「旧通信省姫路電信局」を再生。ジョージアンスタイル建築のように縦線を強調したクラシカルな雰囲気をもつ景観重要建築物本体を美しく魅せるため、新築のチャペルやインテリアに、伝統的な折り紙をコンセプトとした斜めのラインを主張したモチーフを取り入れ改装。



[5] 旧ジェームス邸(兵庫県/2012 年 12 月 8 日)

1934 年建設の神戸を代表する歴史的洋館で、三洋電機創業者の自邸であった「旧ジェームス邸」を再生。歴史的建築美を生かしながら、地上階はレストランや婚礼の待合室として利用し、地下のレンガ積みのバーもそのまま活用、建物を邪魔しない控えめな披露宴会場とチャペルを敷地内に新設。



[6] 旧桜宮公会堂(大阪府/2013 年 4 月 予定)

1935 年に明治天皇記念館として建設された国の重要文化財「旧桜宮公会堂」を大阪市から借り受け婚礼施設兼カフェ・レストランとして再生。日本で最も早い時期の洋館の一つで、ローマ神殿風の重厚な石造りが特徴の建物外観をそのまま残し、建物内を当時の様式美を活かしながら改装。



[7] 辻家庭園(石川県/2013 年夏)

大正初期作庭で、金沢市指定文化財の県屈指の近代庭園「辻家庭園」を婚礼施設兼カフェとして再生。近代日本庭園の先駆者、七代目小川治兵衛(植治)設計の庭と国登録有形文化財の母屋などの外観を残し内装を改装。チャペルと披露宴会場は庭園内に新設。



NOVARESE

会社概要

- 【社名】株式会社ノバレーゼ[英文社名]NOVARESE, Inc.[証券コード]東証一部(2128)
 【住所】〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目8番14号 銀座 YOMIKO ビル 4F
 【電話】03-5524-1122(代) 【設立】2000年11月1日
 【資本金】608,825千円(2011年12月末現在) 【代表者】代表取締役社長 浅田剛治
 【従業員数】1,038人(パート・アルバイト含む)(2012年6月末日)
 【売上高】2011年12月期 110億2,329万円(連結)
 【事業内容】婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、ホテル・レストラン部門

事業内容

■ 婚礼衣裳事業

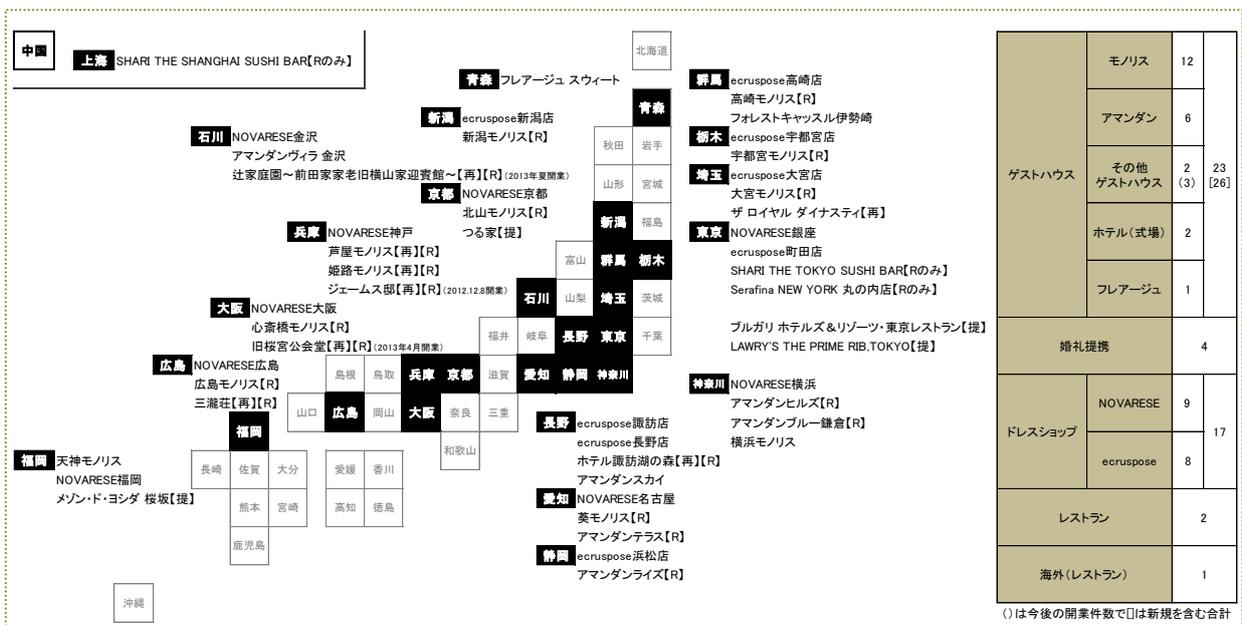
| | |
|-----------|---|
| NOVARESE | 取扱うドレスをイタリアブランドに特化し、洗練されたデザインの高品質なドレスを多様な品揃えで展開 |
| ecruspose | シンプルで洗練されたデザインを打ち出す「NOVARESE」とは異なり、華やかでキュートなデザインのドレスを展開 |

■ 婚礼プロデュース事業

| | |
|----------|---|
| モノスタイル | 都市の中心地や閑静な住宅街など利便性の良い地域を対象に、洗練された都会的イメージと、高級感を演出するシンプルでスタイリッシュな内外装や空間建築を特徴とする施設 |
| アマンダタイプ | 都市郊外で自然の景観に恵まれた地域を対象に、くつろぎと開放感のある高級リゾート感のあるウエディングを演出する、自然を活かした郊外型建築を特徴とする施設 |
| 再生施設 | 歴史的・文化的価値があり利便性の良い高付加価値建造物や、旧来型のホテル・専門式場を当社の開発・運営手法を投入し、蘇らせた施設(下記【再】) |
| フレーザータイプ | 平均婚礼費用を上記3タイプより4割程度抑えた新ブランド。2011年3月に青森県に1号店を開業。既存の式場・ホテル・ゲストハウスを改装する再生物件に特化した施設 |
| 業務提携 | レストランや料亭、ホテルとの提携施設で挙式・披露宴やパーティの受託運営(下記【提】) |

■ ホテル・レストラン事業

| | |
|---------|---|
| ホテル事業 | ホテル諏訪湖の森のホテル運営業務 |
| レストラン事業 | 挙式・披露宴施設において、披露宴の婚礼飲食や宴会飲食ならびに通常の一般飲食(ランチ・ディナー)を行うレストラン事業を運営(下記【R】) |



本件に関するお問い合わせ先

(株)ノバレーゼ 広報担当：野原 TEL: 03-5524-1199 FAX: 03-5524-1133
 E-mail: nohara@novarese.co.jp